

エコロジー

しずおか

平成13年 春号

「県の鳥」を知ってる？

皆さんは「県の鳥」をご存知ですか。

その名は「サンコウチョウ」。ピンとこない方も、「Jリーグジュビロ磐田のクラブキャラクターのモチーフと言えは思い浮かぶでしょう。

どこにいるの？

サンコウチョウは夏鳥で、四月頃に越冬地のインドシナ半島周辺から県内に飛来し、富士山麓や小笠山を中心に薄暗い山林にすみまします。

どんな姿をしているの？

体はスズメよりも少し小さく黒紫色の光沢のある羽で、眼の縁とくちばしが鮮やかなコバルトブルー色のとても美しい鳥です。雄の三〇センチにもなる尾羽が特徴的で、長い尾をヒラヒラさせて林間を舞う姿は妖精のようです。

いつ県の鳥に選ばれたの？

県の鳥に決定したのは昭和三十九年です。県民投票により一位に選ばれました。

もっと詳しく知りたい！

さえずりが「ツキ（月）・ヒ（日）・ホシ（星）・ホイホイ」と聞こえるので、三光鳥（サンコウチョウ）と名付けられました。

サンコウチョウは一夫一妻で、巣づくりから抱卵、ヒナへの給餌まですべての作業を雌雄協同行います。巣は、樹皮、葉、苔などをクモの糸で絡ませてカップ状のものをつくり、その中に三〜五個の卵を産みます。雌雄が仲睦まじい鳥です。



県内にはサンコウチョウをはじめとして三八〇種類以上の鳥たちがすんでいます。いつもの道や公園で、少しだけ気をつけて周りを見回してみてください。きっと、いろいろな鳥たちに出会えるはずです。